

社東京都ペストコントロール協会 理事 葛西 晋平

平成23年10月15、16日の両日、板橋区民祭りが開催された。

今回で40回目となる歴史ある区民祭りだが、初めて東京都ペストコントロール協会として15日の1日だけではあるが、ブースを出展させていただいた。

当日は朝から大雨が降っており来場者の出足が心配であったが、開始から程なくすると徐々に雨足は弱まり、ポツポツではあるが人が多くなってきた。

先に述べたように、今回が初出展ということで色々不安な面はあったが、玉田会長自ら駆け付けてくださり「今回はある意味テストケースということで、他区民祭り同様のやり方で協会のアピールをしつつ、状況をしっかり記録しておくように」との指示。地道にリーフレット、マグネット等配布物を配りながら来場者に害虫相談所のアピールをする。

最初は何のブースか解らないと言うような顔で行き来していた人たちも、内容がわかってくるとポツポツ相談に訪れるようになり、中には30分近くスタッフを捕まえて相談をしていた方がいて、思わず苦笑してしまった。

相談内容はやはりネズミが多く、続いて蜂だったろうか。蜂に関しては、既に時期が終盤であったため、すぐに協会に連絡が来ることはないだろうが、みなさん来年に備えて熱心に話を聞かれていた。ネズミに関しては言わずもがなである。

展示物は市販の薬剤や作業道具等を陳列し、相談者に〇〇害虫の発生時にはこれらの薬が良いとか、我々が依頼を受けた際はこれら道具を使って、どの様な作業をするかなど、説明をしつつ大まかな見積もり根拠なども話をした。

今年度初めて行ったスズメバチ、ハクビシン当てのクイズは子供たちに大人気で、入れ代わり立ち代わり子供たちがやってきてはアメを持ち帰った。子供たちが興味を持てば親も一緒にやってきて子供以上にはしゃぐ姿を見て、スタッフ一同大爆笑。

初出展ではあったが協会アピールはそれなりに出来たという実感と、次回に向けていろいろ課題が見えた1日でした。今回は依頼から祭り開催まで1か月を切った時間しかなく、準備もままならない状態でご協力いただいた、三栄化学消毒・田中氏、アタック・大澤氏、環境衛生サービスセンター室岡・桃井両氏それぞれに感謝いたします。

